# 安城市 減災まちづくり研究会 News Letter

2019年度 Vol. 1

幸せつながる健幸都市 安城

発行元：安城市役所 危機管理課
愛知県安城市桜町18番23号


## 第１回研究会を開催。熊本県益城町からゲストをお呼びし、熊本地震の経験談をお話いただきました。

7月31日、第1回研究会を開催しました。昨年度の取り組み報告や今年度のテーマや取り組み内容の説明を行いました。また今年度の取り組みに先駆け、基調講演会も同時開催しました。

そもそも「被災する」とは、どんな状況になるのでしょうか。2016年熊本地震に遭遇し、現在も地域に寄り添い続けている方をゲストにお呼びし、発災直後の町の様子、避難所や仮設住宅等に移り行く時間の中で感じた課題をお話いただきました。

**◆ 基 調 講 演 ◆**

「被災する」とは～熊本地震に遭遇して～
（NPO法人益城だいすきプロジェクトきままに
代表理事　吉村静代氏）

発災直後はドーンと突き上げられるような強烈な揺れに襲われ、いとも簡単に建物が倒壊していくのを目の当たりにしました。普段移動させるのにも一苦労する自宅のピアノも大きく動き、倒れるほどでした。震度７（※）の揺れに対しては物が飛んだり、扉が開かなくなったりと、自宅（屋内）が一番危険な場所でした。その後、避難所や仮設住宅での顔の見えるコミュニティー作り等に取り組みましたが、災害時には統一的なマニュアルや運営方針に正解はなく、自分たちそれぞれで考え行動する必要があると感じています。

防災に対する意識を高めていくためには、平常時から何事も自分事として受け止めることが重要。何かあれば他人や行政頼みの考え方になってしまうからです。「自分だったら何が出来るのか」と考えられるきっかけ作りが大切です。

※補足：南海トラフ巨大地震が発生した場合、安城市の一部の地域では同じく「震度７」が想定されています。

**◆昨年度までの取り組み報告◆**

過去2年間の取り組みでは「家具等転倒防止の推進」「備蓄品の準備」を共通テーマに、各団体の取り組み状況・成果・課題を自己評価した自己評価シートの集計結果に基づく報告がありました。「子どもたちと楽しく防災を学びあう機会となった」等、充実した取り組みができたという意見がある一方で、「企画作りに留まってしまい、実行までたどり着けなかった」という意見も聞かれました。

今年度のテーマも、昨年同様とし、さらに対策が進むよう、企画例の紹介や個別相談なども応じながら、より気軽に取り組めるようサポートを行っていきたいとの説明がありました。

**★令和元年度の年間スケジュール（概略）★**

①第１回研究会（7月31日）
②備蓄品および家具等転倒防止に関連して、年間で取り組むプラン作り（7~9月中）
③「減災まちづくりフェスタ2019」の開催
　会場：イトーヨーカ堂安城店（9月21日）
④第２回研究会（12月20日）
~~⑤成果報告会~~　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止いたしました。

**お知らせ**

- 令和元年度の減災まちづくり促進プラン企画書フォーマットを配布しました。企画作りにお悩みの方は気軽に市へご相談ください。
- 「減災まちづくりフェスタ2019」(9/21予定）に関するフォーマットを配布しました。参加形態をお知らせください。
- 令和元年度総合防災訓練(10/5）におけるブース出展意向調査票を配布しました。回答は8月23日までにお願いします。